

●地域経済レポート特集号／REGIONAL ECONOMIC REPORT

マルシェノルド

第45号



アイヌ政策と地域

戦後、北海道ではアイヌの人たちの生活向上に向けた施策やアイヌ文化の振興等に関する施策が進められてきました。21世紀になり、2007年の国連総会における「先住民族の権利に関する国際連合宣言」の採択の動きなどを契機に、世界的にも先住民族への関心が高まってきました。その中で、アイヌ政策についても新たな施策に向けての検討が進められ、2019年にアイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現に向けた新たな法律が成立しました。独自の交付金制度を活用した地域振興、産業振興、観光振興等への取り組みが始まり、2020年7月12日には、アイヌの歴史や文化を発信するナショナルセンター「ウポポイ(民族共生象徴空間)」も開業しました。

ここではウポポイ開業を契機に、これまでのアイヌ政策の動きを追いながら、アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される共生社会の実現に向けた地域政策について考えていきます。

Contents

巻頭エッセイ

ウポポイ案内人	1
マルシェノルド編集主幹 小磯修二	

インタビュー

アイヌ政策とウポポイ	2
公益社団法人北海道アイヌ協会前理事長 加藤忠氏	

クローズアップ

ウポポイを楽しもう! ～内覧会体験レポート～	8
------------------------	---

レポート

アイヌ政策の系譜とアイヌ施策推進法	13
-------------------	----

地域事例

アイヌ文化の発信と地域経済の活性化

～ともに進める釧路市阿寒湖温泉地区のまちづくり～	21
--------------------------	----

お知らせ

ウポポイ(民族共生象徴空間) 当面の入場に関するお知らせ	28
『地方創生を超えて』販売のお知らせ	30
お知らせ	31

表紙の切り絵作家

三苦 麻由子 *Mayuko Mitoma*

東京都出身。武蔵野美術短大卒業後、広告代理店勤務などを経てフリーに。1994年札幌へ。みとまゆこのペンネームで、水彩、ペン、墨絵、切り絵など、さまざまなタッチでジャンルにこだわらず活躍中。本誌の表紙は、本号テーマ・イメージによるオリジナル作品。